

経営比較分析表（令和6年度決算）

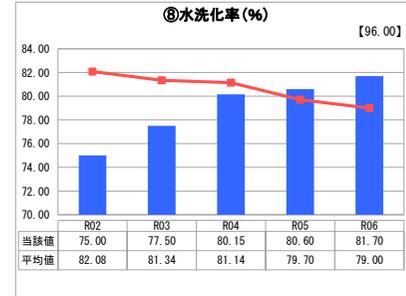
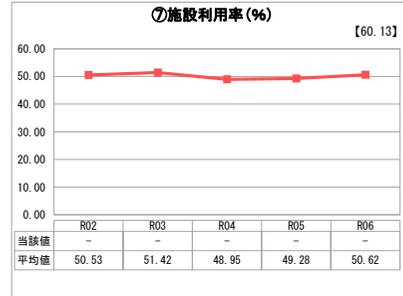
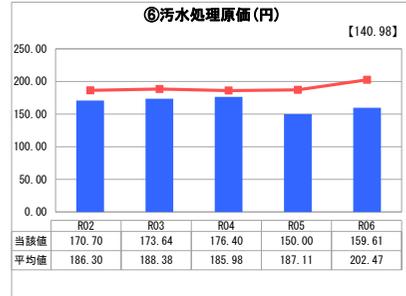
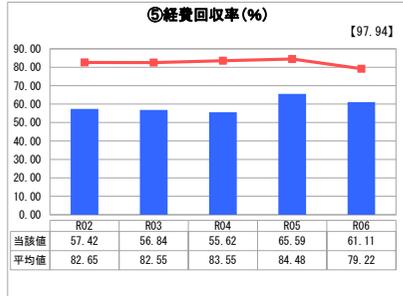
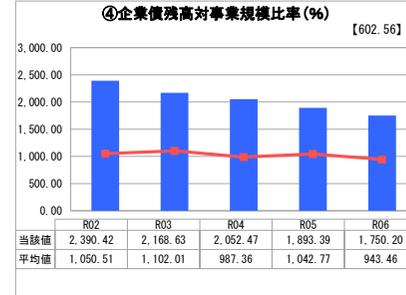
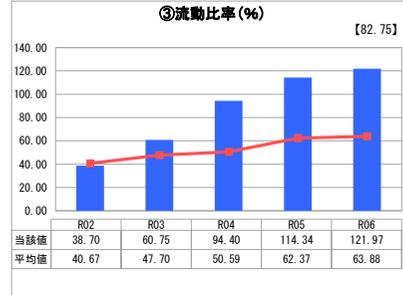
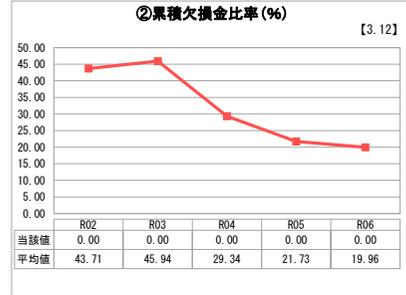
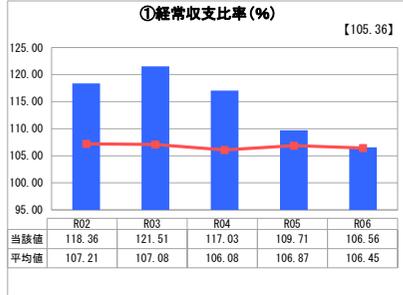
神奈川県 中井町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	公共下水道	Co2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	74.48	75.25	80.39	1,320

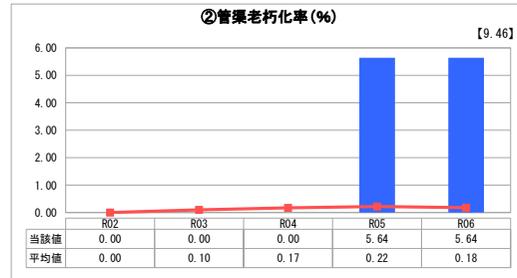
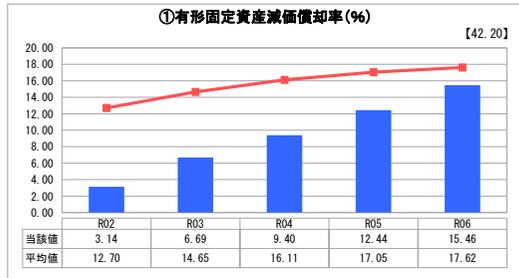
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
8,901	19.99	445.27
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
6,667	2.52	2,645.63

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[] 令和6年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経常収支比率は106.56%で100%を超えています。経費回収率は61.11%で類似団体と比較しても低い値となっています。水洗化率は接続人口の増加及び処理区域人口が減少したことにより81.70%となり、類似団体平均値を超えています。将来的には管渠の更新等があり維持管理費等の増加が予想されるため、経費削減を進めるとともに、一般会計からの繰入れを減らすため、適正な下水道使用料となるよう使用料改定を行い、経営の安全化を図る必要があります。

2. 老朽化の状況について

管渠については耐用年数に達していないものがほとんどですが、県企業庁から移管を受けたコミュニティプラントの管渠が耐用年数を迎えたため、管渠老朽化率は5.64%となっています。有形固定資産減価償却率は15.46%で類似団体平均値よりも低く老朽化の度合いは高くありませんが、管渠更新を計画的に進めていく必要があります。

全体総括

現状では、耐用年数に達する管渠等は少なく、管渠等の老朽化に伴う更新は行っていません。ストックマネジメント修繕・改築計画を基に改築修繕を実施していく予定です。将来の維持管理費等の増加を踏まえ、今年度経営戦略の見直しを行いました。また、令和9年度からの使用料改定に向けて下水道運営審議会にて審議を行っております。令和2年度から地方公営企業会計に移行しましたので、引き続き経営状況と財政状況を明確化することに努めます。下水道事業については、管渠の設計等を行う技術職員はもちろん事務職も地方公営企業会計など専門的知識が必要です。来年度からW-PPPの導入について検討していきますが、専門的知識・技術を継承できるよう職員体制を確保する必要があります。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。